

群峰

札幌市立西岡北中学校 学校だより 第5号
令和8年 10月 14日 発行

〒062-0033 豊平区西岡 3条 8丁目 1-1 TEL853-2422 FAX853-0396 <https://www16.sapporo-c.ed.jp/nishiokakita-j/>

学校祭「響（ひびく）」 生徒会部

第39回西岡北中学校学校祭は、「響」のテーマのもと開催されました。準備期間から当日まで、生徒たちはそれぞれの役割の中で仲間と協力し、よりよいものをつくろうと試行錯誤を重ねてきました。ステージで表現する姿、展示や作品の制作に向き合う姿、仲間を支える姿、学校祭を運営する姿。その一つ一つの一生懸命な姿が、仲間や保護者、地域の皆様など、多くの方々の心に「響く」学校祭につながったのではないのでしょうか。

今回の学校祭で特に印象的だったのは、生徒たち一人一人の頼もしい姿です。生徒会役員が全体を支え、各部門のリーダーが仲間をまとめる一方で、目立つ役割ではなくても、準備や制作に黙々と取り組み、仲間を支える生徒もいました。学校祭は、そうした一人一人の力が重なり合うことで成り立った行事だったと思います。

こうした姿は、学校祭の期間だけで生まれたものではありません。本校では、生徒が自ら考え、判断し、行動しながら学校生活をよりよくしていく「自治的な活動」を大切にしてきました。「校内宝探しウォーキングツアー」や「0・100あいさつ運動」など、生徒から生まれたアイデアを実際の活動につなげる経験も重ねてきました。自分たちの考えが学校を動かすことにつながるという実感は、生徒たちにとって大きな学びになっています。



もちろん、全てがうまくいったわけではありません。課題や思うようにいかなかったこともありましたが、自分たちで考え、挑戦し、振り返り、また次を考える。その積み重ねが、生徒たちの主体性や創造性、仲間と協働する力につながり、今回の学校祭で見られた姿にも表れていたように思います。



また、こうした挑戦ができたのは、活動に参加してくださった保護者の皆様をはじめ、生徒のアイデアを受け止め、支えてきた教職員など、多くの方々の理解と協力があったからこそです。改めて、学校を支えてくださる皆様に感謝申し上げます。

社会が大きく変化する中、子どもたちには、自分で考え、判断し、行動する力や、失敗から学び、再び挑戦する姿勢が求められます。そして、自分とは異なる考えや価値観を認め、互いを尊重しながら協力する力も大切です。今回の学校祭は、そうした力を生徒たち自身が実践する機会の一つになったと思っています。



今回、生徒たちの一生懸命な姿が多くの人の心に「響」いたように、これからは子どもたちの思いや行動が地域へ響き、地域の皆様の思いや力が子どもたちへ響いていく。そのような関係を少しずつ築きながら、「この学校、この地域でよかった」と思える西岡地区、西岡北中学校を目指していきたいと思います。

令和8年度 生徒会役員選挙

10月8日、次期生徒会役員の立会演説会と選挙が行われました。

立会演説会では、18名の候補者が全校生徒の前で熱く自分の思いを語り、一般生徒も真剣に話を聞き、思いを受け止めていました。

社会だけではなく、学校も時代に合わせ、いろいろなことが変わっていきます。新しく役員となった生徒会メンバーで協力して、これからも多くのことに挑戦していったほしいと思います。

また、一般生徒達も真剣な態度で参加することができていました。生徒達は数年後に選挙権を手にするようになります。選挙に対する意識を高める良い機会になったのではないかと思います。



合唱発表会開催迫る！（10月16日）

発表順	クラス	曲
9：30 開会・全校合唱（校歌）		
第1学年と6組（9：40～10：10）		
①	6組	「ハウルの動く城」メドレー
②	1-1	Believe
③	1-4	マイ バラード
④	1-2	With You Smile
⑤	1-3	あさがお
第2学年（10：25～10：55）		
⑥	2-5	ほらね、
⑦	2-2	予感
⑧	2-4	花は咲く
⑨	2-1	僕らはいきものだから
⑩	2-3	あなたへ
第3学年（11：10～11：40）		
⑪	3-3	YELL
⑫	3-4	証
⑬	3-5	虹
⑭	3-2	結-ゆいー
⑮	3-1	友

学校祭が終わり、10月16日の合唱発表会に向けて各学級の練習が始まっています。各学級、指揮者や伴奏者、パートリーダーを中心に自分たちでより力強く、美しい歌を目指して創意工夫しながら練習に取り組んでいます。

4階では1年生の元気な声が、3階では2年生の力強い声が、2階では3年生の美しい歌声が響きます。

どの学年、どの学級も“そのクラスらしい合唱”を聴かせてくれることと期待しています。また、3年生にとっては、この行事を最後に本格的な受験期・卒業期を迎えることになります。これまでに築き上げてきた学年・学級の集大成としての歌声を体育館いっぱいに響き渡らせてくれるはずです。

なお、今年度もコンクール形式ではなく、「合唱発表会」として賞を付けずに子どもたちに「仲間とともに創り上げる喜び」を感じてもらう予定です。

